

# 19-B ハルニレ(春楡)の巨木

ニレ科ニレ属 *Ulmus davidiana* var. *japonica*

※四国北部より東部の主として北国の山地に多く見られる落葉高木。巨木は関東以北に見られるが、四国の「東宇山のハルニレ」は異色の存在である。



## ■ハルニレの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 8m 以上の単幹樹、同等評価のハルニレの巨木。
- B 幹周おおむね 6～8m の単幹樹、同等評価のハルニレの巨木。
- C B 評価以下のハルニレの巨木。

## ■主なハルニレの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 名称                     | 幹周               | 樹高  | 所在地              | 天然記念物指定 |
|----|------------------------|------------------|-----|------------------|---------|
| A  | 有馬のハルニレ<br>写真 H-001    | M8.2m(1.3m 2010) | 20m | 神奈川県海老名市本郷 3881  | 県指定     |
| B  | 板根ハルニレ<br>写真 H-002     | 7.55m            | 40m | 青森県十和田市奥瀬 国有林    | なし      |
| B  | 西ノ湖のハルニレ<br>写真 H-003   | 6.1m             | 20m | 栃木県日光市西ノ湖北西      | なし      |
| B  | 厚内のハルニレ<br>写真 H-004    | 6.0m             | 26m | 北海道十勝郡浦幌町厚内      | なし      |
| B  | 妹背牛神社のハルニレ<br>写真 H-005 | 5.99m            | 22m | 北海道雨竜郡妹背牛町 1 区 7 | なし      |
| B  | 妙義のハルニレ<br>写真 H-006    | 5.9m             | 30m | 群馬県富岡市妙義町        | なし      |

|   |                        |                   |       |                  |     |
|---|------------------------|-------------------|-------|------------------|-----|
| B | 上郷のハルニレ<br>写真 H-007    | 5.9m              | 25m   | 宮城県加美郡色麻町        | なし  |
| B | 仁倉のハルニレ<br>写真 H-008    | 5.75m             | 25m   | 北海道常呂郡佐呂間町二倉 464 | なし  |
| B | 京極町の開拓記念樹<br>写真 H-009  | 5.7m              | 25m   | 北海道虻田郡京極町        | なし  |
| B | 豊富のハルニレ<br>写真 H010     | 5.7               | 32m   | 北海道網走郡美幌町豊富 380  | なし  |
| B | エルムの森のハルニレ<br>写真 H-011 | 約 6m              | 約 20m | 北海道札幌市北区北 8 条    | なし  |
| B | 神迎える榦<br>写真 H-012      | 5.67m             | 18m   | 北海道旭川市東旭川南 1 条 6 | なし  |
| B | 東宇山のハルニレ<br>写真 H-013   | 約 4m(根周 5.7m)     | 20m   | 愛媛県大洲市東宇山        | 県指定 |
| B | 夢の平のハルニレ<br>写真 H-014   | M5.53m(1.3m 2015) | 25m   | 新潟県妙高市笹ヶ峰 夢見平    | なし  |
| C | コブニレ<br>写真 H-015       | 株 8.3m            | 13m   | 岩手県奥州市水沢区佐倉河     | 市指定 |
| C | アカダモの木<br>写真 H-016     | 5.5m              | 21.5m | 北海道三笠市幾春別滝見町     | なし  |
| C | 青山神社のハルニレ<br>写真 H-017  | 5.4m              | 30m   | 山形県東田川郡三川町青山     | 町指定 |
| C | 愛宕神社のハルニレ<br>写真 H-018  | 5.4m              | 25m   | 青森県北津軽郡柳川町石野字宮本  | 町指定 |
| C | 駒嶽神社のハルニレ<br>写真 H-019  | 5.1m              | 35m   | 福島県南会津郡南会津町大桃    | なし  |
| C | 常室のハルニレ<br>写真 H-020    | 5.0               | 27m   | 北海道十勝郡浦幌町常室 49-1 | なし  |
| C | 小森のハルニレ<br>写真 H-021    | 約 5m(根元半壊)        | 20m   | 北海道檜山郡上ノ国町小森     | なし  |
| C | 大宮神社のハルニレ              | 約 5m(半壊)          | 15m   | 岩手県八幡平市上関        | なし  |
| C | 下頓別のハルニレ               | 5.3m              | 20m   | 北海道枝幸郡兵頓別町頓別原野   | 町指定 |
| C | 新宿御苑のハルニレ              | 3.69m             | 14m   | 東京都新宿区内藤町        | なし  |



写真 H-001 日本一のハルニレ

<sup>ありま</sup>  
有馬のハルニレ

ハルニレは北国の山地に多く見られる樹木で、巨木のほとんどは北海道と東北に集中する。ところが、日本一のハルニレは意外にも神奈川県にあり、ハルニレがほとんどない事もあって、地元では何の木かわからず、「なんじゃもんじゃ」と呼ばれていた。

海老名市本郷の交差点角、広大な空地の一角にある小さな広場に立っている。このあたりはかつて有馬と呼ばれていた。寛永年間に徳川三代将軍家光の御典医であった半井驢庵(なかいろうあん)がこの地に領下屋敷を構えていた。ハルニレは驢庵が朝鮮に行った時に二本持ち帰ったもので、屋敷の門前に植えられていた。一本は明治初年頃に消失したという。ハルニレの樹皮を煎じて飲むと安産になるといわれ、驢庵は薬として持ち帰ったものであろう。

現地記載では幹周 6.58m、巨木 DB 幹周 7.5m であるが、M 式測定では幹周 M8.2m もあり、文句なく日本一のハルニレである。地上 6m で分岐するが、一方の幹は切断されている。幹の根元に大きな空洞があり、トンネル状になって、中には大人数人が入れるという。しかし、今は入口が覆われてしまった。





▲写真 H-002 樹高日本一のハルニレ

**板根ハルニレ**

巨木DBでは幹周7.55mで一位にランクされている。これは、二位の「有馬のハルニレ」の幹周が7.5mとされているため。実際は逆である。道の無い国有林内にあり、根元で板根が発達し、樹高40mもの高い樹形を保っている。樹高では日本一のハルニレである。(写真・Web画像)

▼写真 H-007

**上郷のハルニレ**

鈴木家の裏庭立つ。(写真・Web画像)



▼写真 H-008

**仁倉のハルニレ**

仁倉小学校の防風林内にある。(写真・オホーツク総合振興局)



写真 H-003

**西ノ湖のハルニレ**

西ノ湖近くの平原、遊歩道沿いに立つ。(写真・Web画像)



写真 H-005

**妹背牛神社のハルニレ**

(写真・中川勝弘)



写真 H-004

**厚内のハルニレ**

道路近くの平原に立つ見事なハルニレ。

(写真・梶本興亜)



写真 H-006

**妙義のハルニレ**

(写真・Web画像)

▼写真 H-009

**京極町の開拓記念樹**

(写真・梶本興亜)







▲写真 H-010  
とよみ  
豊富のハルニレ  
(写真・Web 画像)



▲写真 H-011  
エルムの森のハルニレ  
北海道大学農学部と理学部に挟まれた芝生公園・エルムの森に立つ。詳細データはない。  
(写真・Web 画像)



▲写真 H-012  
かみむか  
にれ  
神迎える榎  
旭川神社境内に立つ。開拓時、多くの榎の巨木が伐採される中、アイヌの霊樹として伐採から逃れた一本。



▲写真 H-013  
ひがしうやま  
東宇山のハルニレ  
ハルニレの分布域最南端に位置する巨木として重要である。法門寺から400m南の山中。(写真・石田徹)



▲写真 H-014  
ゆめのたいら  
夢の平のハルニレ  
夢見平遊歩道沿いに立つ。



▲写真 H-015  
コブニレ  
根元近くで2分岐する。太い方は幹周6.6mあるが、樹勢は衰えつつある。  
(写真・Web 画像)



▲写真 H-016  
アダモの木  
炭坑の町と知られる街中に立ち、落雷によって弱っている。(写真・Web 画像)



▲写真 H-017  
あおやまじんじゃ  
青山神社のハルニレ  
(写真・石田徹)



▲写真 H-018  
あたごじんじゃ  
愛宕神社のハルニレ  
(写真・Web 画像)



▲写真 H-019  
こまがたけじんじゃ  
駒嶽神社のハルニレ  
上部で2分岐するが、融合木の可能性もある。  
(写真・石田徹)



▲写真 H-020  
とこむろ  
常室のハルニレ(南株)  
2本並んで立ち、南側が大きい。写真右側。(写真・Web 画像)



▲写真 H-021  
こもり  
小森のハルニレ  
(写真・Web 画像)

# 19-C ムクノキ(棕木)の巨木

ニレ科ムクノキ属 *Aphananthe aspera*

※関東地方以西に分布し、巨木は根元が大きく広がる樹形になるものが多い。そのため、実感される大きさよりは幹周の数字が大きくなる傾向がある。

## ■ムクノキの巨木位置図



## ■ムクノキの巨木評価基準

- A 幹周おおむね9m以上の単幹樹、同等評価のムクノキの巨木。
- B 幹周おおむね7~9mの単幹樹、同等評価のムクノキの巨木。
- C B評価以下のムクノキノ巨木。

## ■主なムクノキの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称                    | 幹周                | 樹高  | 所在地            | 天然記念物指定 |
|----|-------------------------|-------------------|-----|----------------|---------|
| A  | 三日月の大ムク<br>写真 M-001     | M9.48m(1.3m 2014) | 19m | 兵庫県佐用郡佐用町下本郷湯浅 | 県       |
| B  | 棕本の大ムク<br>写真 M-002      | M8.9m(1.3m 2014)  | 16m | 三重県津市芸濃町棕本     | 国       |
| B  | 横川のムクノキ<br>写真 M-003     | M8.72m(1.3m 2014) | 25m | 岡山県美作市滝宮横川     | 県       |
| B  | 二見の大ムク<br>写真 M-004      | 8.5m              | 15m | 奈良県五條市二見4丁目    | 国       |
| B  | 岸本神社のムクノキ<br>写真 M-005   | 8.3m              | 16m | 鳥取県西伯郡伯耆町岸本    | なし      |
| B  | 木路原天満宮のムクノキ<br>写真 M-006 | 8.3m              | 20m | 島根県邑智郡川本町川本    | 町       |
| B  | 天引八幡神社のムクノキ<br>写真 M-007 | 8.0m              | 30m | 京都府南丹市園部町天引    | なし      |
| B  | 菊池の將軍木<br>写真 M-008      | 8.0m              | 16m | 熊本県菊池市隈府       | 県       |
| B  | 天神森の棕<br>写真 M-009       | 7.9m              | 21m | 熊本県菊池郡大津町上町    | 県       |



| 評価 | 巨木名称                    | 幹 周               | 樹高  | 所 在 地            | 天然記念物<br>指定 |
|----|-------------------------|-------------------|-----|------------------|-------------|
| B  | 川合のムクノキ<br>写真 M-010     | M7.8m(1.3m 2008)  | 23m | 岐阜県美濃加茂市川合町3丁目   | 県           |
| B  | 火魂神社の大ムクノキ<br>写真 M-011  | 7.8m              | 20m | 兵庫県宍粟市波賀町日見谷     | 県           |
| B  | 北浦のムクノキ<br>写真 M-012     | 7.8m              | 30m | 愛媛県喜多郡内子町北浦      | 町           |
| B  | 閑慶院のムクノキ<br>写真 M-013    | 7.8m              | 25m | 高知県安芸市井ノ口乙       | なし          |
| B  | 宣頓寺の大椋<br>写真 M-014      | 7.8m              | 15m | 熊本県菊池市泗水町住吉      | 市           |
| B  | 菊田比売神社のムクノキ<br>写真 M-015 | 7.6m              | 20m | 福井県大飯郡おおい町名田庄下   | 県           |
| B  | 大倉のムクノキ<br>写真 M-016     | 7.6m              | 14m | 島根県江津市桜江町谷住郷     | 市           |
| B  | 静のムクノキ<br>写真 M-017      | M7.5m(1.3m 2015)  | 15m | 茨城県那珂市静東組        | 県           |
| B  | 大熊神社の大ムク<br>写真 M-018    | 7.5m              | 35m | 鳥取県東伯郡琴浦町高岡      | 町           |
| B  | 浅井のムクノキ<br>写真 M-019     | 7.5m              | 25m | 鳥取県西伯郡南部町浅井      | なし          |
| B  | 山神社のムクノキ<br>写真 M-020    | 7.5m              | 25m | 大分県国東市国見町岐部      | なし          |
| B  | 新宮塚のムクノキ<br>写真 M-021    | M7.46m(1.3m 2014) | 16m | 岐阜県揖斐郡揖斐川町新宮     | 県           |
| B  | 木井馬場のムクノキ<br>写真 M-022   | 7.4m              | 26m | 福岡県京都郡みやこ町犀川木井馬場 | 県           |
| B  | 昭和町のムクノキ<br>写真 M-023    | 7.3m              | 22m | 滋賀県東近江市昭和町       | なし          |
| B  | 長内のムクノキ<br>写真 M-024     | 7.3m              | 18m | 岡山県美作市長内         | 市           |
| B  | 荒神椋<br>写真 M-025         | 7.2m              | 30m | 鳥取県鳥取市横枕         | なし          |
| B  | 神谷神明宮のムクノキ<br>写真 M-026  | 7.1m              | 24m | 静岡県富士市神谷         | 市           |
| B  | 大平のムクノキ<br>写真 M-027     | 7.0m              | 35m | 愛媛県伊予郡砥部町大平      | なし          |
| B  | 弓の木<br>写真 M-028         | 7.0m              | 11m | 兵庫県佐用郡佐用町三日月字笹尾  | 県           |
| B  | 古森神社のムクノキ<br>写真 M-029   | M6.9m(1.3m 2015)  | 25m | 岡山県岡山市北区御津鹿瀬     | 町           |
| B  | 大栃のムクノキ<br>写真 M-030     | 7.0m              | 25m | 高知県香美市物部町大栃      | 県           |
| B  | 妙見堂のムクノキ<br>写真 M-031    | 7.0m              | 28m | 佐賀県佐賀市三瀬村三瀬      | なし          |
| B  | 六社神社のムクノキ<br>写真 M-032   | M7.0m(1.3m 2008)  | 25m | 岐阜県養老郡養老町竜泉寺     | 県           |
| B  | 大岐神社のムク<br>写真 M-033     | 7.1m              | 15m | 広島県呉市豊浜町大浜字立花    | 県           |
| C  | 清滝神社のムクノキ<br>写真 M-034   | 6.5m              | 30m | 熊本県山鹿市山鹿         | なし          |

| 評価 | 巨木名称                  | 幹周                 | 樹高  | 所在地               | 天然記念物指定 |
|----|-----------------------|--------------------|-----|-------------------|---------|
| C  | 安川神社のムクノキ<br>写真 M-035 | M6.66m(1.3m 2015)  | 34m | 兵庫県豊岡市百合地 1314-12 | 市       |
| C  | 命主社のムクノキ<br>写真 M-036  | 株周 M12m(1.3m 2014) | 20m | 島根県出雲市大社町杵築東      | 市       |
| C  | 万福寺のムクノキ<br>写真 M-037  | M6.08m(1.3m 2008)  | 26m | 山梨県甲州市勝沼町等々力      | 県       |
| C  | 鶴島のムクノキ<br>写真 M-038   | M6.7m(1.3m 2008)   | 16m | 山梨県上野原市鶴島 1461    | 県       |
| 枯死 | 寒水のムクノキ               | 8.4m               | 20m | 大分県宇佐市安心院町寒水      | なし      |

※以下、C評価のムクノキの巨木は省略。



▲背後からの樹形

◀写真 M-001 日本一のムクノキ

みかづき  
三日月の大ムク

久森家の裏、母屋と塀との間の狭い空間に立つ。左は背後よりの樹形。下は正面の樹形で、地上1.5mあたりに大きなコブがあり、堂々とした巨木である。先端の枝は家屋を覆うようにして伸び、樹勢はきわめて良好のようだ。樹齢800年という。これだけの巨木が、個人宅の裏庭、それもかなり狭い空間に立っているのは奇跡のようだ。

大分県にかつて日本一とされた「甫手野のムクノキ」がある。幹周が10.1mもあったが、二分岐していた片方が台風で折れ、現在は小さくなっている。

▼正面からの樹形







◀写真 M-012

むくもと  
椋本の大ムク

主幹背後にかつて分岐幹があったが、現在枯死し、崩れている(下写真)。国指定時の幹周は9.5m あったという。



▲写真 M-004

ふたみ  
二見の大ムク

国指定時の樹高は30m もあったが、現在半分程度になっている。

(写真・Web 画像)



▲写真 M-005

岸本神社のムクノキ

主幹半分は枯死し、樹勢は弱っている。

(写真・Web 画像)



▲写真 M-003

よこがわ  
横川のムクノキ

広大な敷地に立つ見事な巨木で、樹下には小祠がある。A 評価予備軍のムクノキ。

写真 M-006▶

きろはら  
木路原天満宮のムクノキ

巨大なフジが主幹に絡み、異様な樹形となった珍しいムクノキ。

(写真・石田徹)

◀写真 M-007

あまびき  
天引八幡神社のムクの木

分岐幹の何本かは枯死し、樹勢は弱っている。(写真・Web 画像)



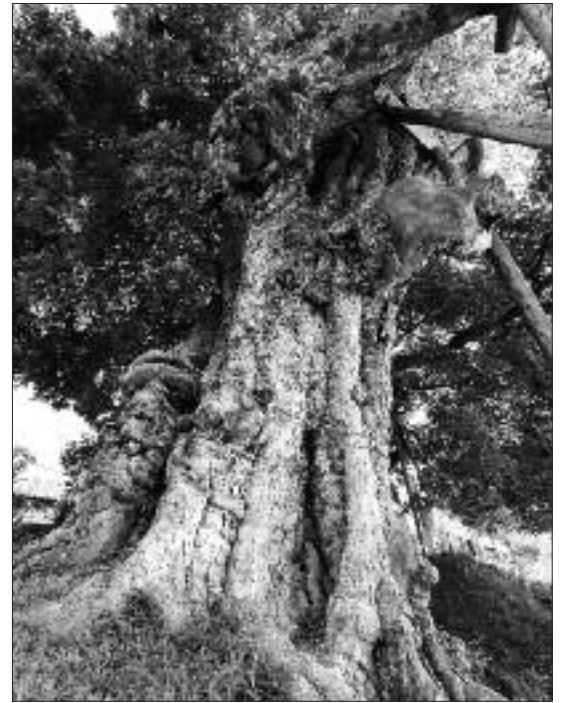




▲写真 M-008  
 菊池の將軍木  
 主幹内部は空洞化し、支柱で支えられている。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 M-009  
 天神森の棕  
 かつて天満宮の森があった所に、ただ一本残されているムクノキ。(写真・Web 画像)



▲写真 M-010  
 川合のムクノキ  
 エノキが根元で合体している。エノキを含めた幹周は M8.55m。



▲写真 M-011  
 火魂神社の大ムクノキ  
 カゴノキを抱き込むように立つ。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 M-012  
 北浦のムクノキ  
 (写真・Web 画像)



▲写真 M-013  
 閑慶院のムクノキ  
 (写真・Web 画像)



▲写真 M-014  
 宣頓寺の大棕  
 (写真・石田徹)



▲写真 M-015  
 菊田比売神社のムクの木  
 (写真・石田徹)

▼写真 M-016  
 大倉のムクノキ  
 (写真・Web 画像)







▲写真 M-017

静のムクノキ

畑地にある静神社横に立つ御神木である。



▲写真 M-020

山神社のムクノキ

(写真・Web 画像)

▼写真 M-023

昭和町のムクノキ

(写真・「巨樹・巨木巡礼」HP)



▲写真 M-018

大熊神社の大ムク

(写真・Web 画像)



▼写真 M-024

長内のムクノキ

(写真・Web 画像)



▲写真 M-019

浅井のムクノキ

(写真・Web 画像)



▲写真 M-022

木井馬場のムクノキ

(写真・石田徹)

◀写真 M-021

新宮塚のムクノキ

水田の中に立ち、主幹は少し根上状になる。

▼写真 M-025

荒神塚

(写真・石田徹)







▲写真 M-026  
かみや  
神谷神明宮のムクノキ  
(写真・Web 画像)



▲写真 M-027  
おおひら  
大平のムクノキ  
(写真・石田徹)



▲写真 M-028  
ゆみき  
弓の木  
(写真・Web 画像)



▲写真 M-029  
こもり  
古森神社のムクノキ  
神社横に立ち、根元が  
大きく広がる。



▲写真 M-030  
おおどち  
大栃のムクノキ  
(写真・Web 画像)



◀写真 M-031  
みょうけんどう  
妙見堂のムクノキ  
(写真・Web 画像)



▲写真 M-032  
ろくしゃ  
六社神社のムクノキ



▲写真 M-033  
おおき  
大岐神社のムク  
(写真・Web 画像)



▲写真 M-034  
ぎよたき  
清滝神社のムクノキ  
(写真・Web 画像)



▲写真 M-035  
やすかわ  
安川神社のムクノキ

▼写真 M-036  
いのちぬしのやし  
命主社のムクノキ



▼写真 M-037  
まんぶくじ  
万福寺のムクノキ



▼写真 M-038  
つるしま  
鶴島のムクノキ



# 19-D エノキ(榎)の巨木

ニレ科エノキ属 Celtis sinensis var. japonica

※北海道にも分布し、果柄が長く、果実が黒く熟すエゾエノキは、巨木分類では分類しない。又、原因は不明だが、巨木では枯死するものが多いのも特徴である。

## ■エノキの巨木評価基準

A 幹周おおむね 8m 以上の単幹樹、同等評価のエノキの巨木。

B 幹周おおむね 6~8m の単幹樹、同等評価のエノキの巨木。

C B 評価以下のエノキの巨木。

## ■主なエノキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称                  | 幹周                  | 樹高  | 所在地            | 天然記念物指定 |
|----|-----------------------|---------------------|-----|----------------|---------|
| A  | 行塚の大榎<br>写真 E-001     | M8.43m(1.3m 2012)   | 15m | 新潟県長岡市島田       | なし      |
| A  | 赤羽根大師のエノキ<br>写真 E-002 | M7.95m(1.3m 2012)   | 18m | 徳島県美馬市つるぎ町一宇   | 国       |
| A  | 山の神さんの榎<br>写真 E-003   | 7.9m                | 20m | 徳島県三好市         | なし      |
| B  | 浜路のエゾエノキ<br>写真 E-004  | 7.6m                | 25m | 福島県郡山市湖南町浜路    | 市       |
| B  | 長倉のエノキ<br>写真 E-005    | 6.4m                | 18m | 茨城県常陸大宮市中居     | 県       |
| B  | 田井本のエノキ<br>写真 E-006   | 6.2m                | 8m  | 宮城県西白杵郡高千穂町上野  | なし      |
| C  | 意了田橋のエノキ<br>写真 E-007  | 6.0m 分岐             | 12m | 山口県周南市湯野       | なし      |
| C  | 当ノ熊のエノキ<br>写真 E-008   | M8.2m(分岐 1.0m 2008) | 18m | 石川県羽咋郡宝達志水町当ノ熊 | なし      |
| 枯死 | 松ヶ崎のエノキ<br>写真 E-009   | 8.0m                | 27m | 福井県勝山市荒土町松ヶ崎   |         |
| 枯死 | 筒路の大エノキ<br>写真 E-010   | 7.2m                | 不明  | 鳥取県東伯郡湯梨浜町筒路   |         |
| 枯死 | 飯山のエノキ<br>写真 E-011    | 8.6m                | 不明  | 岡山県高梁市有漢町      |         |



写真 E-001 日本一のエノキ

### ぎょうづか おおえのき 行塚の大榎

エノキの日本一は、徳島県つるぎ町の「赤羽根大師のエノキ」ということになっていた。根拠は巨木 DB 記載の幹周 8.7m である。しかし、2008 年の調査で、これは根元周囲の幹周で、実際は M7.95m であった。これでも当時は日本一であった。

●石川県宝達志水町の「当ノ熊のエノキ」は幹周 M8.2m だが、2分岐幹樹形である。

●福井県勝山市の「松ヶ崎のエノキ」は幹周 8.0m だが、枯死する。

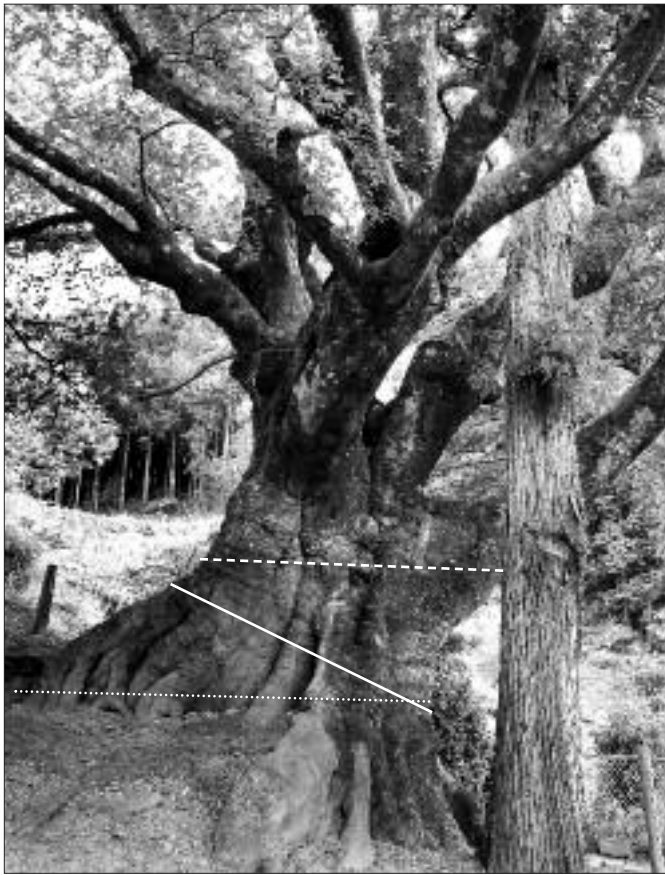
●岡山県有漢町の「飯山のエノキ」は幹周 8.6m だが、これも枯死する。

●鳥取県湯梨浜町の「筒路の大エノキ」は、幹周 7.2m だが、これも枯死する。

●徳島県三好市の「山の神さんの榎」は、幹周 7.9m の見事な単幹樹であるが、所在が明確でなく、正確な調査ができない。

ところが、巨木 DB 記載の新潟県長岡市の幹周 7.3m の「行塚の大榎」を 2012 年に調査すると、幹周 M8.43m であることが判明し、日本一になった。しかし、「山の神さんの榎」は、幹周の数字は及ばないが、樹形から想像するに、日本一の可能性を残している。今後の調査を期待したい。





◀写真 E-002 旧日本一のエノキ

あかぼねだいし  
赤羽根大師のエノキ

巨木 DB 幹周 8.7m が根拠で日本一のエノキといわれた。しかし、この数字は根元幹周(白点線部分)で、実際は M7.95m。左写真の白点線部分を測定。M 式では、幹の中心線に対して直角に、地上 1.3m 地点を測定する(中心に石積みがあり、測定位置の確定には慎重を期す)。

このエノキのように段差のある立地で、傾く樹形の場合、環境省測定方法で、上部 1.3m 位置から水平に測定すると、これも大きな数字が出る(白ドット線)。測定方法によって大きく数字が異なる、厄介な樹形である。



▲写真 E-003

山の神さんの榎

三好市の山中で発見されたエノキの巨木で、公表されている画像を見る限り、日本一に近いと思われるが、実態が不明である。(写真・Web 画像)

◀写真 E-005

ながくら  
長倉のエノキ

(写真・石田徹)

▼写真 E-007

いりょうだばし  
井了田橋のエノキ

1m 程で 2 分岐している。

(写真・石田徹)



▲写真 E-004

はまじ  
浜路のエゾエノキ

エノキ群として評価されているものの最大株。(写真・Web 画像)



写真 E-006▶

たいもと  
田井本のエノキ

エノキとしては異例の樹形で、実にグロテスクである。  
(写真・石田徹)



▲写真 E-008  
 とうのくま  
 当ノ熊のエノキ  
 根元近くで2分岐する。



▲写真 E-009  
 枯死・松ヶ崎のエノキ  
 (写真・渡辺典博)



▲写真 E-010  
 つつじ  
 枯死・筒路の大エノキ  
 (写真・Web画像)



▲写真 E-011  
 いいやま  
 枯死・飯山のエノキ  
 (写真・Web画像)

## 20, クワ科の巨木 Moraceae

■クワ科の巨木は以下に分類する。

A ヤマグワの巨木 B アコウの巨木 C ガジュマルの巨木

### 20-A ヤマグワ(山桑)の巨木 クワ科クワ属 Morus bombycis

※巨木は、養蚕用に栽培されたものが巨大化したもので、マグワもあるが、本書では区別しない。小笠原にあったオガサワラグワの巨木は戦時中にほぼ伐採された。東京都御蔵島に多くあった島桑(ハチジョウグワ)も、木目が美しい事から、巨木の多くは伐採された。明治43年に制作された、幅80cm縦3.5mの一枚板が残されている。

■ヤマグワの巨木評価基準

- A 幹周おおむね5m以上の単幹樹、同等評価のヤマグワの巨木。  
 B 幹周おおむね4~5mの単幹樹、同等評価のヤマグワの巨木。 C B評価以下のヤマグワの巨木。

#### ■主なヤマグワの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称                  | 幹周                  | 樹高   | 所在地                | 天然記念物指定 |
|----|-----------------------|---------------------|------|--------------------|---------|
| A  | 薄根の大クワ<br>写真 YK-001   | M5.26m(0.3m 2016)   | 13m  | 群馬県沼田市石墨町 2083     | 国       |
| B  | 羽吉の大クワ<br>写真 YK-002   | M5.2m(分岐 0.5m 2012) | 7m   | 新潟県佐渡市羽吉           | 国       |
| B  | 山上の大クワ<br>写真 YK-003   | 4.1m                | 10m  | 山形県米沢市三沢北畑 11441   | 県       |
| C  | 六日町の桑の木<br>写真 YK-004  | M3.25m(1.3m 2012)   | 14m  | 青森県三戸郡三戸町六日町 29    | 県       |
| B  | 恵美寿神社のクワ<br>写真 YK-005 | 株周 4.7m             | 8m   | 北海道小樽市祝津 3丁目 161   | 道       |
| C  | 鍬不取の老桑樹<br>写真 YK-006  | 3.6m                | 6.4m | 長野県下伊那郡泰阜村三耕地 2872 | 村       |
| C  | 新田本陣のクワ<br>写真 YK-007  | M3.23m(1.3m 2015)   | 12m  | 群馬県吾妻郡高山村中山字新田     | なし      |
| C  | 大野原のクワノキ<br>写真 YK-008 | 株周 4.0m(0.2m)       | 11m  | 佐賀県嬉野市嬉野町岩屋川内      | 市       |